



「Chromebook (クロームブック) の効果的な活用について」

～一人一台端末の効果的な活用に向けた実践事業より：No. 1～😊

今年度は、弥生小、あさひ小、千代田小、大森浜小、駒場小、湯川小、桔梗小、北昭和小、北中、椴法華中の10校が、「一人一台端末の効果的な活用に向けた実践事業」のモニター校になっています。第一弾としてあさひ小学校と椴法華中学校の取組をご紹介します。

あさひ小学校の取組



1 国語～発表練習のビデオ撮影

国語の時間の音読や作文発表などで、Chromebookのカメラ機能を使って友達同士で互いに撮りあっています。自分の発表を客観的に見つめることができ、他からアドバイスをもらう以上の成果がありました。



2 英語～スライドによる外国の紹介

Google Workspaceのスライドを用いることで、写真をふんだんに取り入れたプレゼンテーションを、時間や手間をかけずに作成することができ、その分練習や感想交流に十分な時間を設けることができました。



3 全般～Chromecastによる大型画面への表示

全教室の大型モニターにChromecastを導入し、教師のWindowsパソコンや児童のChromebookの画面をワイヤレスで表示することができる環境が整いました。これにより、個々の思考を瞬時に全体と共有することができるようになりました。



椴法華中学校の取組

1 朝のタイピング

5月中旬から、一人一台端末の利用をスタートしました。各月、1週間(10～15分)程度、タイピング練習を実施しています。タイピングの他に、ルールを決めたうえで、Chromebookを操作し、様々な使い方について確認できました。



2 総合的な学習の時間

1・2年生は職業しらべをGoogleスライドでまとめ、学校祭で発表しました。3年生は修学旅行をテーマにGoogleスライドでまとめ、地域参観で発表しました。



3 薬物乱用防止教室～Zoomで函館税関と教室を結んで

コロナ禍のため、税関の方は来校できませんでしたが、代わりにZoomを利用し貴重な情報を得ることができました。



今年から、全小・中学校に整備された一人一台端末ですが、積極的に授業や朝の時間に活用している学校が増えてきています。今年度の教育振興フォーラムでは、「一人に一台の端末を活用したこれからの教育について」をテーマに、講演会を開催し、駒場小学校・北中学校の事例発表も行います。学校現場の生の声を聞くチャンスです!! ご興味のある方は、是非ご参加ください。

詳しくはHPをご覧ください😊 <https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2021092100056/>